



【WEBで申請】

マイナンバーカードを使用して医師資格証の申請ができます。
発行される電子証明書は、セカンド電子証明書のみです。(ICカードは発行されません)

マイナンバーカードを使用して右記のサイトから医師資格証を申請できます。
住民票の取得や申請書類郵送の手間を省略することができます。
券面(画面)の氏名には、マイナンバーカードから取得した漢字が印字(表示)されます。

マイナポータル
https://myna.go.jp/html/hpki_information.html



【必要画像】

1. 撮影から6か月以内の証明写真(無帽、無背景、眼鏡の反射のないもの、影がないもの)
2. マイナンバーカード(表面画像のみ。全体が写っているもの。裏面画像は不要)
3. 医師免許証(裏面に追記がある場合は裏面画像も必要です。あらかじめ一つのファイルにまとめてください)



【郵送で申請】

ICカードとセカンド電子証明書の同時発行もしくは、セカンド電子証明書のみの発行のいずれかを選択することができます。

以下の書類を、日本医師会電子認証センターへ郵送してください。

旧字・異体字(いわゆる外字)を希望される場合は、印刷したPDF(医師資格証発行申請書)に、住民票に記載されている漢字を手書きでご記入ください。

【必要書類】

1. 医師資格証発行申請書※(証明写真(無帽、無背景、眼鏡の反射のないもの、影がないもの)を貼付)
2. 住民票(発行から6か月以内・役所等から受け取った原本提出)
3. 運転免許証やマイナンバーカード(表面のみ。裏面のコピーは不要)等の写真付き身分証のコピー(全体が写っているもの)
4. 医師免許証のコピー(裏面に追記がある場合は裏面コピーも必要です。)

※医師資格証発行申請書は、次の2つの方法で作成できます。

- ①WEB申請サービスを使用して作成 ②日本医師会電子認証センターのホームページより申請用紙をダウンロードして作成

郵送先住所: 〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会電子認証センター行「医師資格証 発行申請書類在中」

日本医師会会員の初回および更新手数料は無償です。

申請方法、必要書類、手数料等の詳細はホームページをご確認ください。



日本医師会 電子認証センター
Japan Medical Association Certificate Authority

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16

お問合せ

医師資格証サポートセンター
電話番号: 03-6634-0904(受付時間: 平日 9:30~17:30)
メール: toiawase@jmca.med.or.jp

日本医師会電子認証センター

検索



日本医師会 電子認証センター
Japan Medical Association Certificate Authority

日本医師会 医師資格証 (HPKIカード、HPKIクラウド)



日本医師会認証局とは

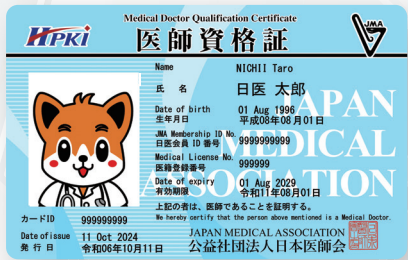
日本医師会は、HPKI(保健医療福祉分野の公開鍵基盤)の制度化以前から国際規格に準拠した認証局を運用し、厚生労働省のルート認証局構築にも協力するなど、HPKIの普及と発展を先導してきました。

HPKIは、医師等の国家資格を電子的に証明し、電子署名・認証を支えるセキュリティ基盤です。

日本医師会認証局では、その基盤のもと、「医師資格証」(HPKIカード)と「デジタル医師資格証」(HPKIクラウド)を発行し、安全・安心な医療DXを支えています。

医師資格証とは

医師資格を持つ本人であることを証明するICカードです。紙の医師免許証の代わりに採用時や災害時に提示して証明として使えるほか、内蔵された電子証明書で電子文書への電子署名やログイン認証(ID/パスワードの代替)に利用できます。



デジタル医師資格証とは

スマートホン端末の生体認証(指紋・顔認証)を用いた厳格な本人確認によりなりすましを防止し、クラウド上のセカンド電子証明書と連携することで安全なリモート署名環境を実現する専用アプリケーションです。日々の診療業務や資格管理をスマートにサポートする4つの主要機能を搭載しています。

医師資格証の表示

生体認証を経た最新の医師資格証券面を表示し、ICカードを携帯していない場面でも身分証明を可能にします。



QR読み取りでリモート署名

電子処方箋発行時にQRコードを読み取り、クラウド上のセカンド電子証明書でカードレスなHPKI電子署名を実行します。



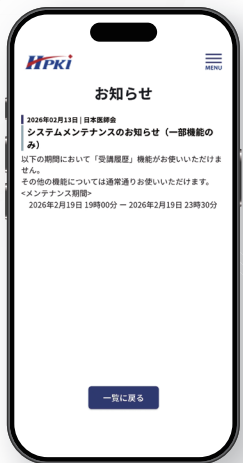
研修履歴・取得単位の確認

研修管理システムと連動し、受講履歴や取得学習単位をアプリ上で一覧確認できます。



日本医師会からののお知らせ受信

医師会情報や重要なお知らせ、各種通知をアプリ内タイムラインへお届けします。



利用シーン



HPKI電子署名

医師本人であることを証明する電子署名です。処方箋や診療情報提供書、主治医意見書など、電子化が進められる様々な医療DXの現場で活用されます。



二要素認証

電子カルテや地域医療連携ネットワークへのログイン認証に用いることができます。令和9年度以降に求められる『二要素認証』のデバイスとして使うことも可能です。



採用時の 医師資格確認

医療機関等の採用時に医師免許証と同様に医師資格証の提示による資格確認が認められています。(平成29年12月18日 医政医発1218第1号)



災害時の 資格確認

災害時等緊急時に券面の提示によって医師であることを示すことができます。日本医師会では、JMAT等、災害時における医療チーム派遣時にも医師資格証の携帯を推奨しています。



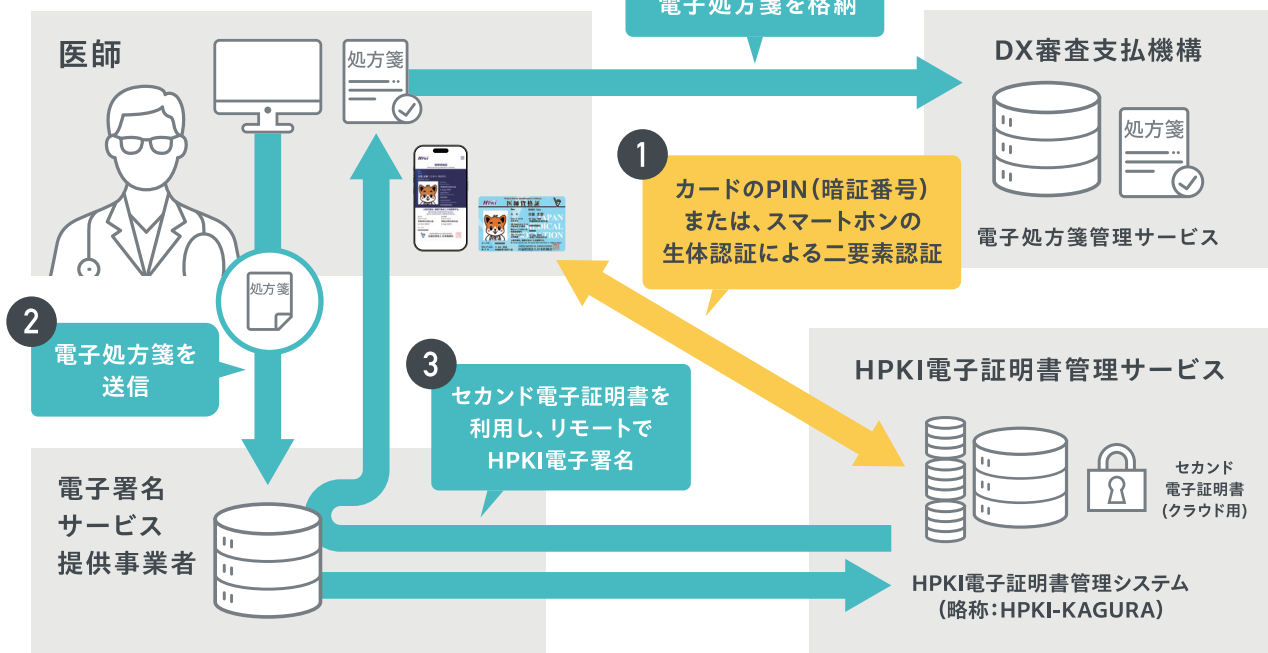
JAL DOCTOR 登録制度

JAL DOCTOR登録制度に申し込むことができます。

医療DXのセキュリティ基盤を支える(リモート署名と二要素認証)

医師資格証・デジタル医師資格証がHPKI電子証明書管理サービスと連携することで、カードによるHPKI電子署名、二要素認証だけでなく、リモート署名や生体認証による二要素認証を実現します。電子カルテのログインに、医師資格証のPIN(暗証番号)やデジタル医師資格証の生体認証を用いた強固な二要素認証を行い、クラウドのセカンド電子証明書を利用することで、HPKIのリモート署名が可能になります。この基盤は高い拡張性を備えており、電子処方箋だけでなく、順次、広範な電子医療文書へも対応することで、安全・安心な医療DXのセキュリティ基盤となります。

電子処方箋を例とした活用方法



... 認証処理の流れ ... 電子処方箋処理の流れ